TOTO

東陶機器株式会社

商品のお問合わせはTOTOお客様相談室へ

0120-03-1010

受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日　10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

修理についてのご用命は東陶メンテナンス㈱へ

0120-1010-05

受付時間：関東・甲信越地方　8:00～20:00
：上記以外の地区　9:00～20:00

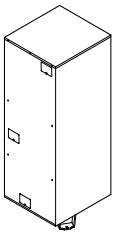
商品に関するご相談や修理については、下記のお取付工事店・販売店へ

本　　社　〒802-8601　北九州市小倉北区中島2-1-1……ビル電話受付台(093)951-2111

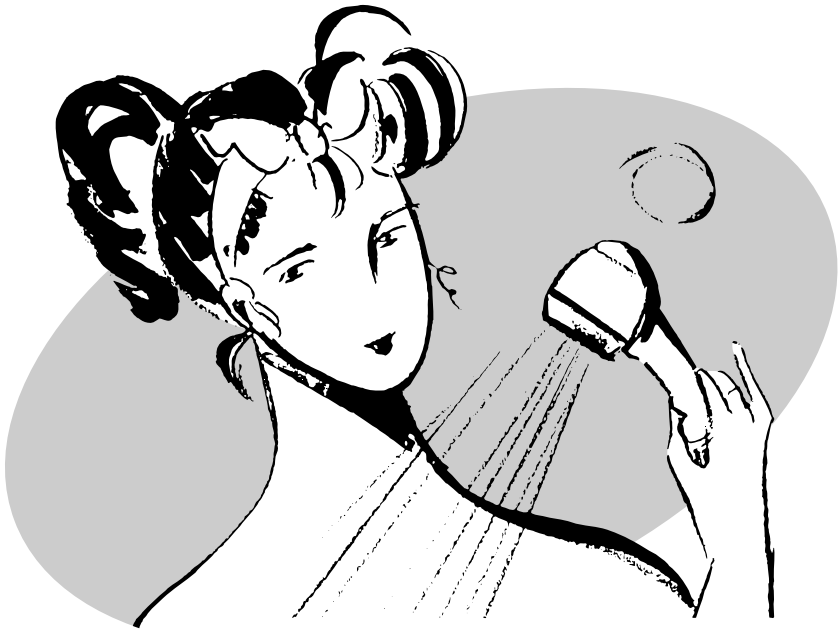
'02.3
RD06096N

深夜電力対応電気温水器

取扱説明書



TOTO



型式名　RE3701型
RE2001型

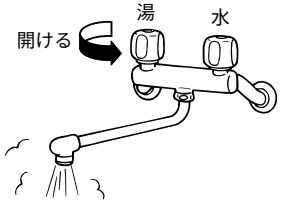
品　名　湯ぽっと370/200

●このたびは **TOTO** 電気温水器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●ご使用前にこの説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。

はじめに

■カンタン操作

深夜にお湯をわかしていますので出湯は給湯栓を開けるだけ。
約85／65℃のお湯が出ます。
温度の切替方法は、8ページ わき上げ温度設定のしかた をご覧ください。
湯水混合栓でお好みの湯温に調節してお使いください。
湯水混合栓の使用方法は、9ページ お湯の出しかた をご覧ください。



■お湯は大切に

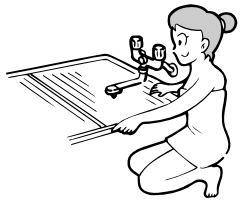
1日に使用できるお湯の量は限られています。
お湯は大切にお使いください。
特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になり、お湯が使えなくなります。

●流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。

●お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。

●入浴は、できるだけ深夜通電時間帯（午後11時～午前7時…一部の地域では異なります）を避けて入浴してください。
深夜通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になる場合があります。

●浴槽には冷めやすいものもあります。
入浴後はふたをしてください。



もくじ

特に注意していただきたいこと …… 1
各部のなまえとはたらき …… 4

使用前の準備 …… 7
使用方法 …… 9
日常の点検とお手入れ …… 10
凍結による破損の予防について …… 16

故障かな？と思ったら …… 17
アフターサービス …… 18
仕様 …… 19

特に注意していただきたいこと

<安全に正しくお使いいただくために>

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

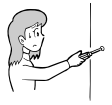
絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味
	一般的な禁止		**感電注意**
	分解禁止		**必ず行う**
	接触禁止		**アース工事**

⚠ 警 告

■分解・改造しない

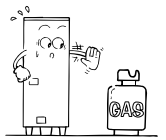
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
（故障、感電の原因になります。）



分解禁止

■近くにガス・灯油類や引火物を置かない

電気温水器の近くにガス、灯油類や引火物を置かないでください。
（発火、火災の原因になります。）



禁止

■やけどに注意

●給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
（やけどのおそれがあります。）

●お湯を使うときは、まず水から。
①水側を開ける　②湯側を開ける

●シャワーを浴びるときは、手で温度を確かめてから。

接触禁止

必ず行う

逃し弁の動作確認時は、逃し弁・排水口に手を触れないでください。
（やけどのおそれがあります。）

接触禁止

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
（やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。）

禁止

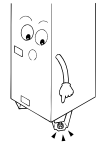
■アース工事を確認する

アース工事がされているか確認してください。
（故障や漏電の時に感電の原因になります。）

アース工事

■脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する

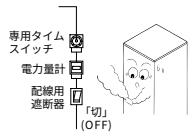
また2階以上に据付けた場合は、上部振れ止め金具で壁に固定されているか確認してください。
（本体が倒れてけがをするおそれがあります。）



必ず行う

■異常時の注意

異常時（こげ臭い、本体及び配管部分からの水漏れなど）は配線用遮断器のレバーを「切」（OFF）にして止水栓を閉じ、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱に連絡してください。



必ず行う

特に注意していただきたいこと

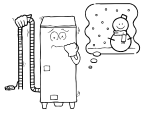
⚠ 注 意

■飲用はしない

湯は飲料水として使用しないでください。
（水質が変化した場合、下痢、腹痛など、体をこわす場合があります。）

■凍結予防対策を確認する

（凍結すると配管などが破裂するおそれがあります。）

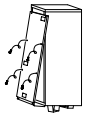


■温水器が浴室などの湿気の多いところに取付けられていないか確認する

（火災、感電の原因になります。）

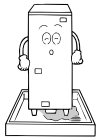
■前面カバーは絶対にあけない

（ショート、感電のおそれがあります。）



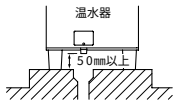
■床面が防水処理・排水処理されているか確認する

（水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。）



■排水口は、排水溝より５０㎜以上離れているか確認する

（排水が逆流するおそれがあります。）

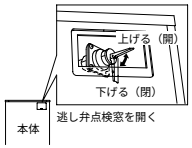


■必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、配線用遮断器及び、温水器の漏電遮断器のレバーを「入」にする。

（ヒータが空だきとなり故障の原因となります。）

■逃し弁を点検する

必ず月に１回逃し弁の点検をしてください。（11ページをご参照ください。）
（逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります。）

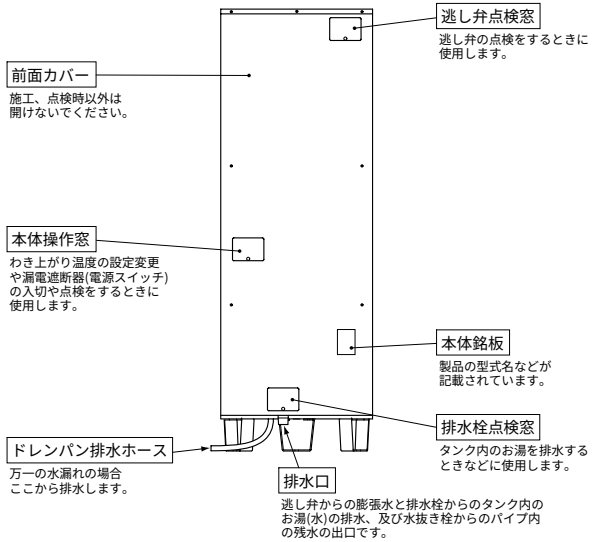


各部のなまえとはたらき

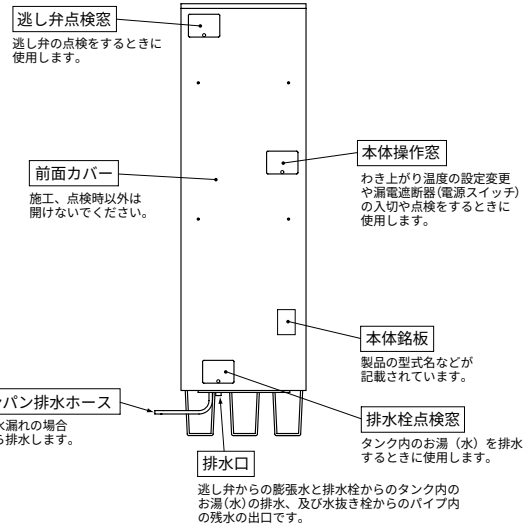
快適なお湯ライフのため、各部のなまえとはたらきを確認され、上手にお使いください。

本体外観

・RE3701型



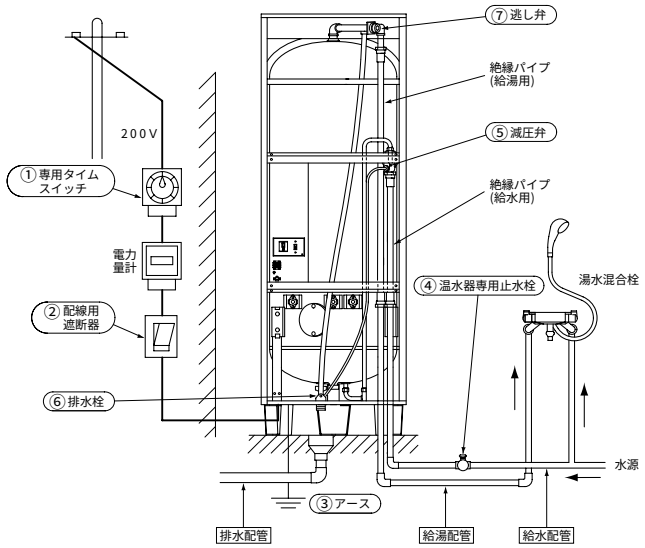
・RE2001型



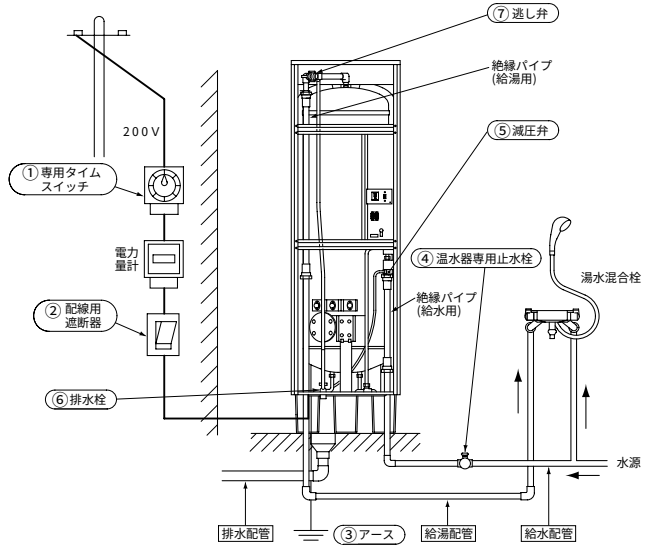
各部のなまえとはたらき

本体内観及び周辺図

・RE3701型設置例



・RE2001型設置例



① 専用タイムスイッチ
深夜電力電源200Vの供給を自動的に「入」、「切」します。

② 配線用遮断器
200V電源の「入」、「切」をします。

③ アース
万一の感電を防ぎます。

④ 温水器専用止水栓
タンクへの「給水」、「止水」に使います。

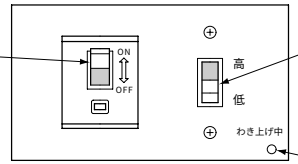
⑤ 減圧弁
タンクへの給水圧力を一定にします。

⑥ 排水栓
タンク内の水を排水するときに操作します。

⑦ 逃し弁
沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定の圧力にします。

本体操作部

※本体操作窓を開けた部分



電源スイッチ(漏電遮断器)
レバーを上にすれば、電源「入」(ON)、レバーを下にすれば電源「切」(OFF)になります。
また万一の漏電のときには、自動的に電源を「切」(OFF)にします。

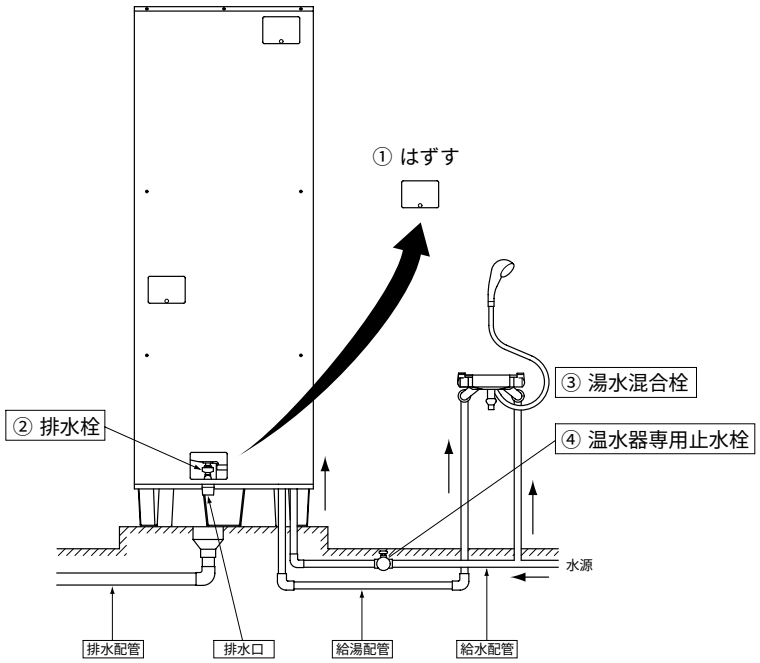
湯温設定スイッチ
スイッチを「高」にすれば約85℃、「低」にすれば約65℃までわき上げます。

わき上げ中ランプ
わき上げ中はランプが赤く点灯します。

使用前の準備

最初の給水のしかた

①化粧ねじ（1ヶ所）をとり、排水栓点検窓をはずします。
②排水栓を閉じます。
③湯水混合栓の湯側を全開にします。
④温水器専用止水栓を開きます。
数10分後、湯水混合栓の湯側から水が出てきます。
これでタンクが満水になりますので湯水混合栓を閉じてください。



ちょっと一言

●温水器専用止水栓を開いてすぐに水がでてきても、配管の中の残水がでてきた可能性がありますのでしばらく給水してください。
●最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを流すため、満水になったら一度、全部排水し再び給水してください。(排水のしかた、再給水のしかたは13～15ページを参照してください。)

通電のしかた

①配線用遮断器を「入」（ON）にします。
②本体の漏電遮断器（電源スイッチ）を「入」（ON）にします。
③夜間の通電時間になると自動的に沸き上げを開始します。

⚠ 注 意

■必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、配線用遮断器及び、温水器の漏電遮断器のレバーを「入」にする。
（ヒータが空だきとなり故障の原因となります。）

必ず行う

ちょっと一言

●通電時間帯は午後11時～午前7時までです。(地域により一部異なります。)
●通電すると逃し弁を通じて排水口から膨張水が出ますが、異常ではありません。

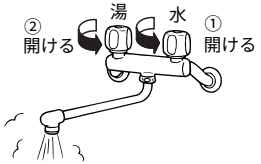
わき上げ温度設定のしかた

①本体操作窓を開ける。
②湯温設定スイッチを「高」にすれば約85℃設定、「低」にすれば約65℃設定になります。
（4～6ページ「各部のなまえとはたらき」をご参照ください。）

使用方法

お湯の出しかた

①給水栓を開けます。



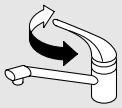
②給湯栓を開けます。

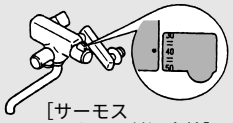
●しばらくするとお湯が出ます。

ちょっと一言

●給湯栓を開けたとき、給湯配管内の冷水が出てしまうまでご希望のお湯は得られませんが、しばらくすると安定した湯温になります。

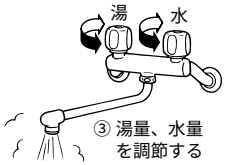
●シングルレバー混合栓の場合にはレバーを中央付近に、サーモスタット付混合栓の場合は温度調節ハンドルを適温（約40℃）付近にしてお湯を出してください。


［シングル
レバー混合栓］

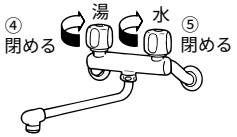

［サーモ
スタット付混合栓］

③湯量を調節します。

●湯量、水量を調節することにより、お好みの湯温に調節します。



④給湯栓を閉めます。



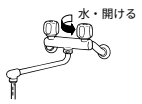
⑤給水栓を閉めます。

⚠ 警 告

■やけどに注意

●給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
（やけどのおそれがあります。）

●お湯を使うときは、まず水から。
①水側を開ける　②湯側を開ける



●シャワーを浴びるときは、手で温度を確かめてから。

接触禁止

必ず行う

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただくために、点検やお手入れを行ってください。

点検やお手入れの際のご注意

●機器の前面カバーは外さないでください。
●お手入れの際、指先には十分注意してください。

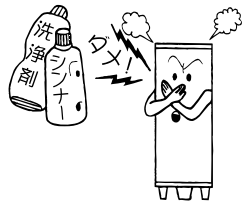
点　検

●まわりにガス･灯油類や引火物はありませんか？ ➡ 危険なものや不要なものは取除いてください。

●電気温水器本体及び配管からの水漏れはありませんか？ ➡ お取付け店又は東陶メンテナンス㈱にご連絡ください。
(フリーダイヤル)☎0120-1010-05

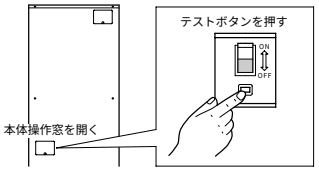
機器外装の手入れ

●かたく絞った布でふいてください。
汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤をふくませた布でふいてください。
※酸性・アルカリ性の洗剤やシンナーなどは割れの原因になりますので使用しないでください。



漏電遮断器の動作確認

●月に一度、漏電遮断器のテストボタンを押して動作確認をしてください。
深夜通電時間帯に漏電遮断器が「入」(ON)→「切」(OFF)になれば正常です。また確認後は、必ずレバーを「入」(ON)に戻してください。

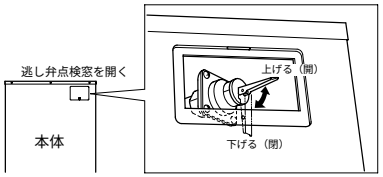


※RE2001型は操作窓が向かって右になります。

日常の点検とお手入れ

逃し弁の動作確認

●月に一度、逃し弁のレバーを2～3回上げ下げして必ず動作確認をしてください。レバーを上げた時に排水口より排水し、下げた時に排水が止まれば正常です。

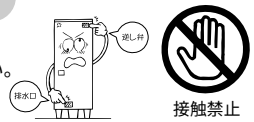


※RE2001型は点検窓が向かって左になります。

⚠ 警 告

■やけどに注意

●逃し弁の動作確認時は、逃し弁・排水口に手を触れないでください。
（やけどのおそれがあります。）



ちょっと一言

●逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、排水口より常にお湯が流れて、湯量不足の原因になります。
●逃し弁は、水からお湯になるときの膨張分の水を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。
●逃し弁が正常に動作しないと､タンクが破損し､水漏れや故障の原因になります。

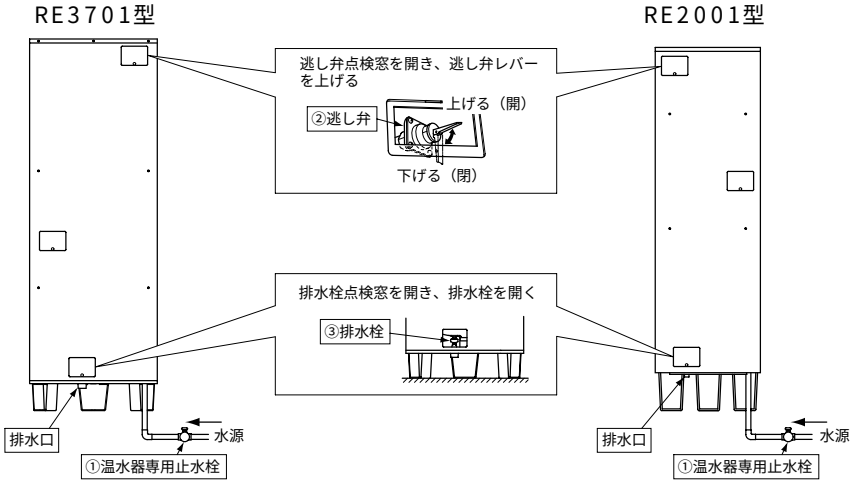
本体の水漏れ確認

●電気温水器を設置した床面に水が漏れてないか確認する。（特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。）

タンクのお手入れ

●月に1回程度タンクの下部にたまった汚れを排水します。

1．配線用遮断器のレバーを「切」にします。[5ページ参照]
2．タンク内の温度を下げるため、数日間放置するか、おふろなどに給湯してお湯を使い切ってください。
3．①温水器専用止水栓を閉じます。
4．②逃し弁のレバーを上げます。
5．③排水栓を開き、排水します。
6．汚れた水がきれいな水に変わったら、③排水栓を閉じます。（排水口からの排水が止まります。）
7．排水が終わりましたら、①温水器専用止水栓を開きます。
8．②逃し弁を通じて、排水口より再度水が出てきたら②逃し弁のレバーを下げます。
9．配線用遮断器のレバーを「入」にします。



※各点検窓はお手入れが終わりましたら、元通りにしてください。

⚠ 警 告

■やけどに注意

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
（やけどや配水管が熱で変形するおそれがあります。）

ちょっと一言

●タンクのお手入れは、深夜通電時間帯をさけて、行ってください。湯切れの心配があります。

日常の点検とお手入れ

短期間お使いにならないとき

●配線用遮断器のレバーを必ず「切」にしてから温水器専用止水栓を閉じてください。[5ページ参照]
●再度ご使用になるときは、タンク内の水を取りかえることをおすすめします。

長期間お使いにならないとき

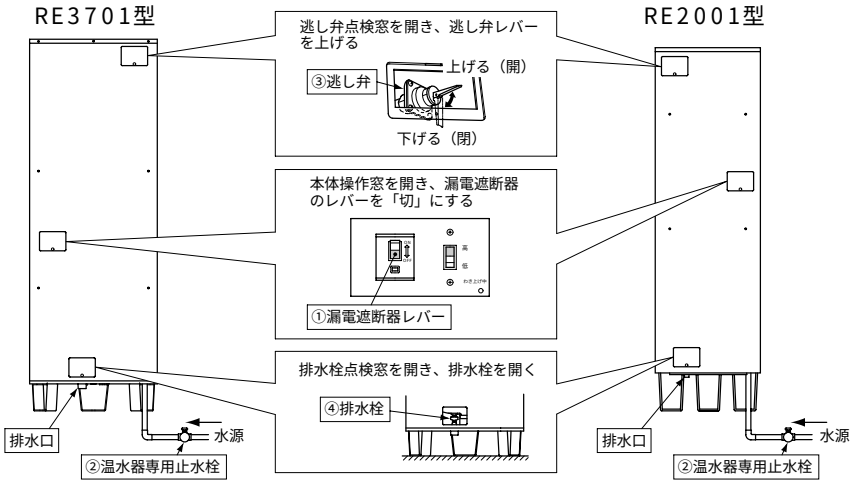
●1ヶ月以上使用しないときは、配線用遮断器、温水器の漏電遮断器のレバーを必ず「切」にしてから、タンクの排水をしてください。
手順は、下記の「排水のしかた」を参照してください。
●再度ご使用になるときは、15ページ「再給水のしかた」を参照してください。

排水のしかた

1．配線用遮断器のレバーを「切」にします。[5ページ参照]
2．温水器の①漏電遮断器のレバーを「切」にしてください。
※電源の供給を停止します。
あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることがなくなります。
3．タンク内の温度を下げるため、数日間放置するか、おふろなどに給湯してお湯を使い切ってください。
4．②温水器専用止水栓を閉じます。
5．③逃し弁のレバーを上げます。
6．④排水栓を開き、排水してください。
7．タンクの排水が終わりましたら、③逃し弁のレバーを下げてください。
8．④排水栓は再給水されるまで開けたままにしてください。排水栓を閉めるとタンク内の空気が冷える際に負圧となって、変形・破損の原因となります。

⚠ 注 意

■排水栓は再給水されるまで開いたままにしてください。
（排水栓を閉じると、タンク内が負圧になり、変形・破損のおそれがあります。）



※各点検窓、操作窓は排水が終わりましたら、元通りにしてください。

⚠ 警 告

■やけどに注意
タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
（やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。）

ちょっと一言

●断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯（水）を生活用水（飲用は不可）として利用できます。
⚠ **やけどにご注意ください**

日常の点検とお手入れ

再給水のしかた

1．③逃し弁レバーが下がっていることを確認してください。
2．④排水栓を閉めてください。※必ず行ってください。
3．湯水混合栓の給湯栓を全開にします。
（タンク内に水がたまっていないため、はじめは水が出てきません。）
4．②温水器専用止水栓を開き、給水します。
5．湯水混合栓から水が出てきたら、湯水混合栓を閉じます。

ちょっと一言

●温水器専用止水栓を開いてすぐに水が出てきても、配管の中の残水が出てきた可能性がありますのでしばらく給水してください。

6．配線用遮断器、温水器の①漏電遮断器のレバーを「入」にしてください。

⚠ 注 意

■必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、配線用遮断器及び、温水器の漏電遮断器のレバーを「入」にする。
（ヒータが空だきとなり故障の原因となります。）

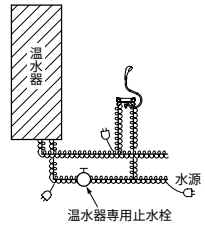
必ず行う

凍結による破損の予防について

●冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0℃以下になる場合には、減圧弁、逃し弁や配管が凍結し、お湯が出ないばかりでなく、水漏れなどの原因になります。
●凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。
●凍結予防対策としては、凍結予防ヒータによる方法　少量の水を流し続ける方法　があり、地域に応じた対策が必要です。どの方法で施工されたのかお取付け店に確認し、その方法にしたがって実施してください。

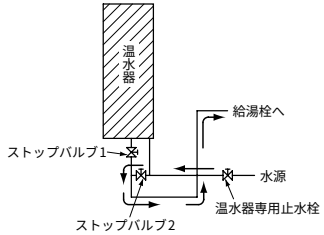
凍結予防ヒータによる方法

●凍結予防ヒータが図のように巻かれているかを確認してください。
●凍結予防ヒータは何本も使用されていますので、すべてのヒータのプラグをコンセントに差し込んでください。
●凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いてください。



少量の水を流し続ける方法

●配管の水を流しながら、凍結を予防する方法です。
①ストップバルブ1を閉じ、ストップバルブ2を開きます。
②各給湯栓・湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態で水を流します。
〈翌朝使用するとき〉
①各給湯栓・湯水混合栓を閉じます。
②ストップバルブ2を閉じ、ストップバルブ1を開きます。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

こんなとき	理　　由
お湯が白く濁ってみえる。	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい気泡になって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害なものです。
お湯から油や臭いが出る。	●初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出る場合がありますが、数日使用すると消えます。

こんなとき	お調べいただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	●温水器専用止水栓は開いていますか。	●閉じていたら、開いてください。
	●断水ではありませんか。	●水道局へ問い合わせてください。 断水が終わるまで待ってください。
	●配管部分が凍結していませんか。	●とけるまで待ってください。
お湯がわかない。	●配線用遮断器又は漏電遮断器（電源スイッチ）が「切」(OFF)になっていませんか。	●「切」(OFF)になっているときは、「入」(ON)にしてください。 ※2度、3度と「切」(OFF)になる場合は、故障の恐れがありますので、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。
	●温水器用電力量計が動いていますか。 （午後11時～午前7時の間） 地域により一部異なります。	
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	●深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用していませんか。	●翌朝までお待ちください。
	●いつもに比べてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	
	●タンクへの給水温度が低温ではありませんか。	●温水器の残湯量がなく、給水温が5℃以下では85℃までわき上がらないことがあります。
	●逃し弁の排水口から昼間もお湯が流れ出ていませんか。	●逃し弁の動作確認をしてください。 ☞ 11ページ ※お湯が止まらないときは、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。
	●給湯、給水管から水漏れしてませんか。	●お取付け店にご相談ください。
	●湯温の設定は「高」になっていますか。	●湯切れするときは、湯温設定スイッチを「高」（85℃）にしてご使用ください。

アフターサービス

点検・修理を依頼されるとき

●点検・修理を依頼される前に17ページの「故障かな？と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
確認のうえ、それでも不具合がある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご連絡ください。

●点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
①製品名又は品番（電気温水器に貼ってある銘板で確認）
②不具合現象の内容③取付年月日④お名前・住所・電話番号⑤お宅までの道順

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品は、製造打切り後7年（BL認定品は10年）保有しています。
なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

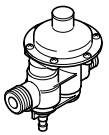
保証について

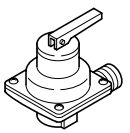
●製品に保証書が同梱されています。
必ず「お取付店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。

●修理を依頼されるときは、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にお電話ください。
保証期間であれば、保証書の記載内容に基づき修理いたします。
保証期間を過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

減圧弁・逃し弁について

減圧弁・逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性がありますので交換が必要になる場合があります。交換についてはお取付け店又は東陶メンテナンス㈱ 0120-1010-05（フリーダイヤル）にご相談ください。


減圧弁


逃し弁

仕　様

製　品　仕　様

■ 湯ぽっと370

型式	RE3701／RE3701B
タイプ	深夜電力通電タイプ
設置場所	屋外（防雨）・屋内・マンション兼用
タンク容量	370L
定格	単相200V　4.4kW
わき上がり温度	約85／65℃　切替
製品質量（満水時）	約65（435）kg
製品寸法（幅×奥行×高さ）	641×690×1860㎜
最高使用水圧	0.75MPa（7.5kgf/cm²）
安全装置	漏電遮断器、温度過昇防止器
制御方法	バイメタル式サーモによる自動温度調節
ヒータ	シーズヒータ

■ 湯ぽっと200

型式	RE2001／RE2001B
タイプ	深夜電力通電タイプ
設置場所	屋外（防雨）・屋内・マンション兼用
タンク容量	200L
定格	単相200V　2.4kW
わき上がり温度	約85／65℃　切替
製品質量（満水時）	約50（250）kg
製品寸法（幅×奥行×高さ）	550×500×1900㎜
最高使用水圧	0.75MPa（7.5kgf/cm²）
安全装置	漏電遮断器、温度過昇防止器
制御方法	バイメタル式サーモによる自動温度調節
ヒータ	シーズヒータ

注：機器名の末尾に「B」のつくものはBL認定品です。
　　BL 認定品は財団法人「ベターリビング」が優れた住宅設備機器に与えるものです。

MEMO